

平成 21 年度 第 4 回 群馬経済同友会社会人講師派遣 平成 21 年 2 月 15 日(月)速記録

講師 林 明夫 氏 (株式会社 開倫塾 代表取締役社長)

演題 「一生勉強、一生青春 仕事のやりがい・喜び・楽しさ・厳しさ」

<はじめに>

皆さん、こんにちは。今日は、「一生勉強、一生青春 仕事のやりがい・喜び・楽しさ・厳しさ」というテーマでお話をさせていただきます。仕事の話なので、最初に私の仕事についてお話をさせていただきます。一つは、開倫塾という学習塾を栃木・群馬・茨城の 49 か所でやっております。塾生数は約 6,500 名、先生は約 350 名の学習塾です。それから、福島市にある有朋学園有朋高等学院という高等学校の理事長をやっております。また、宇都宮大学大学院工学研究科で、大学院生を教える客員教授をやっております。足利市にある特別養護老人ホーム清明苑の理事を 20 年ぐらいやっております。白内障の手術用のメスや手術用の縫合針、歯根治療用のダイヤモンドバーなどをつくるマニー株式会社の社外取締役をやっております。マニー株式会社は、ベトナム、ミャンマー、ラオス等に工場がある会社です。それから、CRT 栃木放送で毎週土曜日の朝 9 時 15 分から「開倫塾の時間」というラジオ番組を担当しています。これは 23 年間ぐらい続いています。今日は、これらの仕事を通して考えたことをお話しします。

<私の好きな言葉>

私の好きな言葉をお話いたします。私は、皆さんと同じ中学生のときに足利市立山辺中学校の柔道部にいました。そのときの監督、椎名弘先生に教わったのが「練習で泣いて、試合で笑え」という言葉です。泣きはしませんでした。泣くようにつらい練習でした。これは非常に厳しい言葉でしたが、今でもよく覚えています。その椎名弘先生からは「自他共栄 - 自分も他人も共に栄えよう」という言葉も教えて頂きました。これは嘉納治五郎さんの言葉だそうです。それから、中学 3 年生のときのクラス担任の岡田忠治先生に教わったのが「ブルドック魂」です。これは何のことかと先生に質問したら、食い付いたら離すなということでした。皆さんも、クラス担任の先生や各教科の先生からよい言葉を教わったと思ったら、メモをしておくとい生の宝物になると思います。

足利高等学校のマラソン大会のハチマキに書いてあったのが、「一所懸命」という言葉です。字が違うのではないかと聞いたのですが、そうではありませんでした。これは、一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組めということだと言われました。慶應義塾大学法学部法律学科に入って弁護士を目指し勉強していたのですが、そのときに、犯罪学・刑事政策のゼミの宮沢浩一先生に教わったのが「注意一秒・けが一生」です。ちょっとしたことで間違っ犯罪を犯してしまうと、それが大変なことになるから気をつけましょうということ。また、小泉信三先生という慶應義塾大学の前の塾長先生から教えていただいたのが「練習は不可能を可能にする」です。これはよい言葉ですね。小泉信三先生はテニス部の顧問をなさっておられましたので、テニスの指導の中で出てきた言葉です。京都に行ったとき、山科の一燈園で石川洋先生から教わったのが「会った人は皆友達」です。これもなかなか面白い、よい言葉ですね。そのときに「人生逃げ場なし」という言葉も教えていただきました。目の前のことから逃げてはいけないということ。それから、

「あなたは本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか」という言葉で、自分を見つめなさいということをお教えいただきました。

私の大好きなユネスコ協会の先輩からは、「目には遠いが、心は近い」というインドのことわざをお教わりしました。これはお互い遠く離れていても心は近い存在でありたいものだという意味だとお教えいただきました。

私は、人間は自分自身を律して生きれば 110 歳まで生きられると思っています。このように人生は長いですから、大事なことは「いつまでも若々しく生きる」ことですね。これは覚えておいてください。

そのためにはどうすればよいでしょうか。私どもの会社は小さい会社で 60 歳が定年ですので、定年になると私のところに挨拶に来ます。そのとき私は、85 歳すぎまで働いてくださいと引きとめています。ただし、元気で若々しくないといけないので、いつまでも元気で若々しくいてくださいとお願いしています。それから最後の言葉です。私の好きなドラッカーという経営学者が教えてくれたのが「教育ある人とは、勉強し続ける人」という言葉です。皆さんにお願いしたいのは、勉強は中学校で終わり、高等学校、大学、大学院で終わりではなく、学校を出てからが勉強だということです。

皆さんには好きな言葉がありますか。もし、中学校をはじめ様々なところでいろいろな方から教わった心を打つ言葉があったら、忘れないうちにメモをしておきましょう。気に入った言葉を手帳に書いておき、つらいときなどに、折に触れて読み返してみると励みになりますので、是非やってみてください。

#### <仕事のやりがい・喜び・楽しさ・厳しさ>

人は何のために働くのか、これは非常に難しいテーマです。私の考えの一つは、「生活できるだけの収入を得るため」ということです。「え！お金のためなのか」と思うかもしれませんが、働くのは収入を得るため、まさにお金のためなのです。例えば、私はよくインドに行きますが、インドには一所懸命働いても人間らしい生活ができない人がまだたくさんいるのです。インドに行ってよくわかったのは、仕事をするにより、人間らしい生活ができるくらいのお金はもらえたらいいということです。ただ、お金のためだけに働くというのではあまりにも寂しいですから、もう一つ「仕事を通して自己実現をするため」ということをつけ加えたいと思います。今日は仕事をしてよかったなど、自分で感じられることが、素晴らしいことだと思います。

また、仕事を通して「お客様のお役に立つこと、世の中のお役に立つこと」も大事だと思います。お役に立つとは、お客様や世の中の問題を解決することです。例えば、私は以前体調を崩したことがあり、毎週鍼灸の治療に行っていますが、そのおかげで今は健康でいられるのです。つまり、鍼灸の先生は、私の健康を維持するという問題を解決してくれているのです。有難くて、いつも感謝しています。そう考えると、仕事はおもしろいのではないのでしょうか。皆さんの御家族の方の仕事

も見ていくと、とてもおもしろいと思います。お客様や世の中のお役に立つことが、仕事の喜び、楽しさ、厳しさといえると思います。

#### <競争相手に負けないためには>

ただ、どんな仕事にも競争相手がいます。競争相手に負けないようにするには、独自性を持たなくてはなりません。お客様にとっての幸せとは、選択肢があること、つまり、ものやサービスを求めるときに 2 つ以上のものから選ぶことができることです。強力な競争相手、ライバルがいるとお店としては大変ですが、相手に負けないよう創意工夫をすることになります。そのときに何が大切かという、一つ目は価格(値段)です。お客様が気軽に買える値段設定が大切です。二つ目は、お店の場所が大切です。お客様の利用しやすい場所でものやサービスを提供することです。三つ目は、お客様とのコミュニケーションが図れるような広告宣伝も大切になります。

では、競争に負けないためにはどうしたらよいのでしょうか。競争に負けないためには勉強しかないのです。これから先は少し難しいお話になりますが、少し考えてみてください。まず初めは、お客様の問題とは何か、世の中では何が求められているのかを発見することです。これは非常に難しいことです。皆さんも社会に出ると、このことばかり考えるようになります。

次は、社会の問題とは何かを知ることです。先ほどお話しました、特別養護老人ホームなどは社会の問題を解決するのです。皆さんは、2025 年問題というのを知っていますか。今 60 歳ぐらいの世代の人たちは人口も多く、その団塊の世代と呼ばれる人たちが 2025 年ころには皆 75 歳すぎになります。この人たちがいかに元気に生きるかが、大テーマになってくるのです。もし皆さんが医療施設や介護施設に勤めたいならば、社会の問題とは何かをよく考えてください。

さらに、自分の会社の強み・弱みを知ることが大切です。強みを伸ばし、弱みを補強するのです。では、どこから学ぶのでしょうか。まずは競争相手から学ぶことです。それから模範となるところから学ぶことです。以上の勉強を通して、競争に負けないものやサービスを作り出していくことになります。勉強すればするほどおもしろいのが仕事です。

#### <職場生活で大切なこと>

職場で大切なことは何かといえますと、一つ目は明るく、楽しく、元気よくチームでプレイをすることです。これはわかりやすいと思います。チームプレイとは、自分のポジションの仕事は自分の力で守り切ることです。そのためには仲間を信頼することです。仲間に信頼されるだけの仕事を自分でしっかりすることです。

二つ目はフェアプレイです。これは、社会や職場のきまりを守り、その中で仕事をするということです。また、自分がされて嫌なことはしないことです。

三つ目は問題点を先送りしないで仕事の上での議論は自由にすることです。ただし、議論を自由にして喧嘩になってはいけませんから、職場ではできるだけ丁寧(ていねい)な言葉、です・ます調

で話すことです。それから、人の話をよく聞くことです。また、わかりやすい言葉で説明することです。最後に、人格非難は絶対にしないことです。

4つ目は約束した時間の少し前に元気に到着することです。時間の前に到着できることは、仕事をする上で大事な能力です。遅刻や欠席をしないことが大事なのは、学校と全く同じです。今、このように、学校で勉強していることはすべて社会で役に立つ予行演習だと思ってやってください。

5つ目は5Sです。整理・整頓・清掃・清潔・躰(しつけ)の頭文字をとって5Sといいます。どこの職場でも大切なことです。では、躰とはどういうことでしょうか。5Sでいう躰とは他人に言われなくても自分から進んでできること、習慣になっていることです。躰には別の意味もあります。それは美しい立居振舞いです。その一つが服装です。オリンピックの選手で服装を注意された人がいましたが、場所にふさわしい服装があるのです。また、お辞儀の仕方も大切です。立居振舞いは、美しく丁寧にすることです。また、敬語表現を含む言葉遣いができることも大切な躰です。職場ではできるだけ丁寧語を使います。また、大きな声で挨拶をすることも大切です。人間関係をよくするには、元気な挨拶が一番です。自分のことを嫌だなと思っている相手にも、元気に挨拶しましょう。喧嘩をした後も、元気に挨拶しましょう。すぐに仲良くなれますよ。

最後は、メモを取ることです。仕事に教科書はありません。お客様・ビジネスパートナー・上司・同僚等から学んだことは、どんどんメモを取ってください。そして、メモしたことはわかりやすく整理して覚えてください。これも学校の勉強と同じですね。授業中に大切なことをノートに取るのと同じように、メモを取りましょう。メモが取れるのは大事な能力です。

#### <学校での勉強は将来すべて役に立つ>

学校の勉強は社会に出て役に立つのかということですが、私はすべて役に立つと考えています。特に役に立つのは、保健体育でしょう。いわゆる5教科も大切ですが、一番大切なのは保健だと思います。そこには長生きできる秘訣が書かれています。技術家庭も大切です。家庭では自分のことは自分でできなくてはなりません。また、豊かな人生を過ごすには音楽や美術も大切です。保健体育・技術家庭・音楽・美術は、学校に行っている間にしか勉強しませんので、今を大切にしてください。

教科以外のさまざまな活動もすべて役に立ちます。学校行事・部活動・学級活動・当番はすべて大切です。当番の中ではトイレ掃除が大切です。開発途上国に行きますと、トイレが汚くて入れないことが多いです。日本のトイレは極めてきれいですが、トイレ掃除ができないとお客様に来てもらえないでしょう。

学校生活では学び方・学ぶ能力を身につけてください。一度「うんなるほど」と理解したことをどう身につけるのか。音読練習、書き取り練習、計算・問題練習を学校時代からやっていただくと、社会に出てから新しいことを学び、それを身につけるときに役に立つと思います。それから、読書をしてください。読書により思慮深さを身につける。これが大切です。本は何回読んだらよいのか。私は、本は6回ぐらい読んだほうがよいと思います。一回では忘れてしまいます。3回目ぐらいで

何となくわかってくるのです。気に入った文章があったら「書き抜き読書ノート」に書き抜き、時々読み返すと少しずつ自分のものになってきます。また、新聞を読んで自分で考える力、批判的思考能力を身につけるとよいと思います。社会の問題がわからないと、よい仕事はできません。世の中の激しい動きに合ったものやサービスを提供したり、世の中の動きを先取りしたりするのが仕事ですからね。気に入った記事があったら「スクラップブック」にスクラップ、切り抜きをすることをお勧めします。

#### <一生勉強、一生青春>

最後に、私の好きな言葉をもう一つお送りいたします。「一生勉強、一生青春」という相田みつを先生の言葉です。勉強するときには、何となくやるのではなく、自覚を持って学ぶこと。何のために生きるのか、何のために働くのか、何のために学ぶのか、何のために進学するのか、進学して何をするのかを真剣に自分の頭で真剣に考えてください。人生は長いですから、「一生勉強、一生青春」と思い、興味のあることを勉強し続けてください。以上で、私の話を終わります。ご清聴有難うございました。